

石川県内経済情勢

令和6年10月
財務省北陸財務局

県内経済は、令和6年能登半島地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果等もみられることなどから、緩やかに持ち直している。

先行きについては、復旧・復興の動きに加え、各種政策や北陸新幹線敦賀延伸の効果もあって、持ち直していくことが期待されるが、地震等の影響については十分注意する必要がある。

(注) 6年10月判断は、前回6年7月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

個人消費：地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果等もみられることなどから、緩やかに回復しつつある。

百貨店・スーパー販売

飲食料品や高額品に動きがみられることから、緩やかに回復しつつある。

コンビニエンスストア販売

被災地支援者や北陸新幹線の敦賀延伸効果等による観光客の来店が続いており、米飯類等に動きがみられることから、堅調となっている。

ドラッグストア販売

飲食料品等に動きがみられるほか、新規出店効果もあり、拡大している。

ホームセンター販売

被災家屋の復旧需要によりDIY用品に動きがみられることなどから、好調となっている。

家電大型専門店販売

給湯器やテレビに動きがみられることから、持ち直しの動きがみられる。

新車販売台数

緩やかに持ち直しつつある。

主要観光地の来訪客数

前年を下回っているものの、能登地域では営業を再開する動きがみられる。

主要温泉地の宿泊客数

前年を下回っており、能登地域では多くの旅館で休業が続いているものの、能登地域以外では、北陸新幹線の敦賀延伸等の効果もあって、回復している。

設備投資：6年度は増加見込みとなっている。 (法人企業景気予測調査 (6年7-9月期調査))

製造業は増加見込み、非製造業は減少見込みとなっている。

住宅建設：下げ止まりつつある。

新設住宅着工戸数で見ると、下げ止まりつつある。

公共事業：前年を上回っている。

前払金保証請負金額

前年を上回っている。

生産活動：緩やかに持ち直しつつある。

汎用・生産用・業務用機械

繊維機械が弱含んでいるほか、金属加工機械が弱い動きとなっていることなどから、全体では弱い動きとなっている。

電気機械

家電向けが弱まっているものの、スマートフォン向けが持ち直しつつあることから、全体では下げ止まっている。

化学

大宗を占める医薬品で、緩やかに回復している。

繊維

衣料向けが弱含んでいるものの、非衣料向けが持ち直しつつあることから、全体では緩やかに持ち直しつつある。

企業収益：6年度は増益見込みとなっている。（法人企業景気予測調査（6年7-9月期調査））

製造業、非製造業ともに増益見込みとなっている。規模別では、大企業、中堅企業、中小企業ともに増益見込みとなっている。

企業の景況感：全産業では「下降」超となっている。（法人企業景気予測調査（6年7-9月期調査））

現状判断（6年7-9月期）は、製造業、非製造業ともに「下降」超となっている。

なお、先行きは、全産業では6年10-12月期、7年1-3月期ともに「上昇」超となる見通しとなっている。

雇用情勢：地震の影響により一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。

有効求人倍率（季節調整値）

上昇している。

新規求人数

前年を上回っている。

新規求職者数

前年を下回っている。

雇用保険受給者実人員

前年を上回っている。

金融機関の貸出金：前年を上回っている。

企業倒産：前年を上回っている。

件数、負債総額ともに前年を上回っている。

消費者物価（金沢市、生鮮食品を除く総合）：前年を上回っている。

お問合せ先
財務省 北陸財務局 経済調査課
TEL (076) 292-7858